

(15) 大気汚染（粉じん等）

- 1) 調査目的

撤去工事实施区間に直近の集落である荒瀬集落において、工事实施前の粉じん等の発生状況を把握することを目的とする。
- 2) 調査時期・頻度

出水後に工事が実施されることを考慮し、平成 25 年 4 月～5 月及び平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月に調査を実施した。
- 3) 調査方法

デポジットゲージを設置し、降下ばいじん量を採取した。1 月ごとに試料を採取し、固形物総量を測定し、降下ばいじん量を算出した。

5) 調査結果

平成 24 年 11 月以降の降下ばいじん量 2.10～8.69 t/km²/月であり、参考基準（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成 11 年 建設省都市局）の 10t/km²/月）を下回るものであった。

表 1 粉じん調査結果（平成 25 年度）

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月
pH		5.9	6.6	—	—	5.9	6.2
水不溶性物質	mg	139.6	236.2	—	—	164.9	205.9
水溶性物質	mg	207.59	86.17	—	—	385.66	428.88
固形物総量	mg	347.19	322.37	—	—	550.56	634.78
ロート径	cm	30	30	—	—	30	30
降下ばいじん量	(t/km ² /期間)	4.91	4.56	—	—	7.79	8.98
採取期間	開始日	4月5日	5月1日	—	—	7月31日	8月30日
	採取日	5月1日	5月31日	—	—	8月30日	9月30日
採取日数	日	26	30	—	—	30	31
降下ばいじん量	(t/km ² /月)	5.67	4.56	—	—	7.79	8.69
※ 参考値	(t/km ² /月)						

項目		10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH		6.2	6.6	6.4	6.5	6.7	6.2
水不溶性物質	mg	61.8	114.7	69.8	94.8	178.6	176.6
水溶性物質	mg	120.79	201.83	80.32	78.00	262.25	160.54
固形物総量	mg	182.59	316.53	150.12	172.80	440.85	337.14
ロート径	cm	30	30	30	30	30	30
降下ばいじん量	(t/km ² /期間)	2.58	4.48	2.12	2.44	6.24	4.77
採取期間	開始日	9月30日	10月31日	11月29日	12月27日	1月31日	2月28日
	採取日	10月31日	11月29日	12月27日	1月31日	2月28日	3月31日
採取日数	日	31	29	28	35	28	31
降下ばいじん量	(t/km ² /月)	2.50	4.63	2.28	2.10	6.68	4.62
※ 参考値	(t/km ² /月)	10					

※参考値：10t/km²/月（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成11年 建設省都市局監修））

4) 調査地点

基本的には工事前の調査地点と同じ地点で調査を実施した。すなわち、工事区域と荒瀬集落の間に位置する場所とし、荒瀬ダム下流の企業局用地内にデポジットゲージを設置した。

